

## 親子の学び応援講座（福島市立福島第一中学校）

令和7年10月30日（木）福島市立福島第一中学校において、親子の学びや家庭での実践活動を支援するため、親子の学び応援講座を開催しました。耳が聞こえないというハンデをもちながらも夢を叶えた講師の経験を親子で共に聞くことで、諦めずに挑戦することの大切さや、家族や周りの人達の思いについて一緒に考える機会とするため実施しました。



### 「みんなのやっていないことで 自分ができることをやる」

中学では、バドミントン部に入り、一人でカーテンの開け閉めや、モップ掛けをがんばった。キャプテンにはなれなかったが、他人がやっていないことを一生懸命やることで自分の存在価値を見いだすことができた。

### コンプレックスを 自分の強みに変える

最初は補聴器を見られるのが恥ずかしかったが、耳が聞こえないことを相手に理解してもらうことは、気持ちのよいものだった。



堀 由美恵 氏

元プロボディーボーダー  
一般社団法人 陽けたら海へ 代表理事



陽けたら海へHP

### 「人の声は心で聞く」

### 「顔は心が100%出ている」

朝、友達の顔を見て「おはよう」と言えば元気がない時は気付くことができる。私たちは声の代わりに相手の顔を見て会話をします。

耳が聞こえないことで仕事が見つからず、苦勞している時に「あなたが聞こえない人生を選んだんでしょ。諦めちゃだめよ」と母に励まされた。

### 人生のどん底にいるとき 裏には必ずフレゼントがある

#### 【感想】

- 私も困ったことや、なんで私だけって思うこともたくさんあったけど、勇気付けられるような言葉をたくさんくださり、これからも頑張っていこうと思えました。（生徒）
- 自分らしく生きることが大切だと改めて実感しました。これからも頑張ります！（生徒）
- 人の顔（目）、表情を見て会話をすること、理解することの大切さを親子で話し合いたかったです。（保護者）



由美恵さんは2歳の時、耳が聞こえない進行性難聴であることが判明しました。周囲になじめず「聞こえない」ことへの悩みを抱えながらも、18歳の時にボディーボードと出会い、プロになりました。

強さや厳しさの中に優しさをもつ母の言葉によって、励まされ、困難を乗り越えてきた、由美恵さんの生きる力と人を思いやる心、困難に負けないエネルギーは聞いている人たちの大きな励みになったようです。

よりよい親子関係（人間関係）を築くためには、伝えようとする気持ちと理解したいと思う気持ちが大切だと感じました。子どもたちと一緒に大人も学び続けることが大切ですね！

県北教育事務所では、親子が共に学び、育ち合う「家庭教育」を今後も応援していきたいと思います。

家庭教育に関するお問い合わせは

県北教育事務所 総務社会教育課 伊藤まで

電話 024-521-2814

E-mail itou\_emi\_02@pref.fukushima.lg.jp